

二世帯住宅が 叶える暮らし

共働き家庭の増加や少子高齢化の影響で、今、二世帯住宅の需要が高まっています。ヤマサハウスでもこれまで多くの二世帯住宅を手がけてきました。ひと口に二世帯住宅と云いつて、と、将来を見据えて二世帯住宅化のためのポイントはさまざまです。そこで今回は、ひとつの心かな暮らしについて、お話をいただきました。



3世代が集う、にぎやかでゆとりのある住まい



背景 二世帯住宅が叶える暮らし

F	E	B	A
H	G	D	C

- A 週末ごとに集まつては、明るく広々としたリビングで一家団らんを楽しんでいます。
- B 和室でトランプをするご夫婦とお孫さんたち。
- C 家庭菜園も楽しみのひとつ。
- D 2階がつながったように見える、奥様こだわりの外観。
- E 2階はお孫さんたちのお気に入りの空間。広いソファやハンモックでのんびり。
- F シックなテイストにまとめた2階。家具は姉妹で相談してセレクトした。
- G 2階のテラスは夕涼みにも最適。美しい夕焼けを眺めながら過ごす時間が幸せ。
- H 以前住んでいた奈良のお住まいに似せた床の間。

「私たちちは長らく奈良で暮らしていました。けれども長女が鹿児島へ嫁ぎ、鹿児島でなら面倒みれるよ」と声をかけてくれたこと、海外で暮らす次女からも「帰国したときに遊びに来たい」という願いがあったことで将来の生活を見据えて二世帯住宅を建てる決意をしました」と話すお客様。現在、ご夫婦は1階にお住まい、2階は長女ご家族が週末に遊びに来た際の宿泊できるスペースになっていました。

当初は、土地や中古住宅を自分で探したもの、希望する条件に適う物件がなく、住宅メーカーに「コンタクトを取ることに」「長女がヤマサハウスさんの住宅展示場で営業の蔵元さんにお会いしたのが、この縁の始まりです。そこから住まいづくり探検ツアーに参加したり、さまざまな説明を受けたりした中で、お任せしても大丈夫」と信頼できました。また、地場のメーカーであることや、県産材を使用している点も決め手のひとつですね」とお客様。長女ご家族の自宅近くの土地を見つけて合わせを重ねました。

「もうえしたこともありがたかったです。3世代で過ごせる広く明るいリビング、両サイドの部屋から出入りできるウォークインクローゼット、和室には床の間と化粧柱を設け、2階はがらりと雰囲気を変えたスタイリッシュな「ザインなど、さまざまな要望を叶えた二世帯住宅。奈良に拠点を置きながらの鹿児島の家づくりは、計8回の打ち合わせを重ねました。

二世帯住宅から膨らむ夢

「ヤマサハウスさんの本社での打ち合わせでは、色々なお願いを伝えましたが、熱心に応じてくださいました。インテリアもきめ細かく親切に対応いただきましたし、建築中は、メールで写真を送っていました。遠方にいるながら進捗状況がわかつたので、安心でした」。

週末になると3世代で食事をしたり、冬場は和室にこたつを置いて一家団らんを楽しんだりしているそうです。

「夏には次女家族が帰国して新居に滞在する予定です。それから、いつかは奈良で一緒に研究活動をしていた県外の仲間たちも招いて、2階に泊まつてもらお客様の夢は広がるばかりです。



担当からひと言

営業
萬元 美里・くらもと みさと
庭などでお家時間を楽しんでもらえて良かったです。訪問するといつも快く出迎えていただき、つい長居してしまいます(笑)。

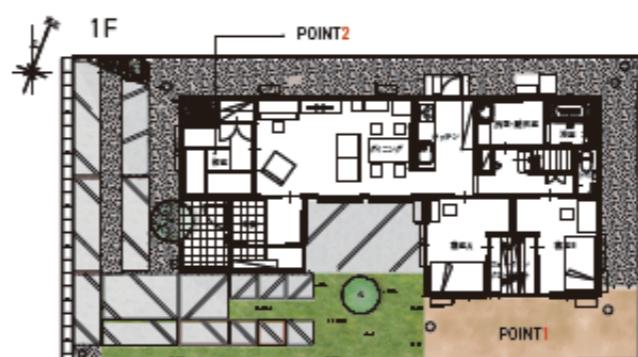


◀ 「TV紹介」でもご紹介中!



ご家族のオフショット

テラスでのBBQが休日の楽しみ!
3世代でBBQを楽しむことも。机と椅子は塗装材を活用してお客様が手作り。この家でDIYが新たな趣味に。



間取りのポイント

POINT1 家庭菜園やティータイムを楽しめる広々とした庭。外からの視線を気にせずに過ごせる。

POINT2 リビングとひと続きになった床の間のある和室。段差を無くしてパリアフリーに。

POINT3 和風な1階に対して、2階は洋風に。ホテルライクでモダンな雰囲気にまとめている。